企業・団体

NEC 日本電気株式会社

事　業

「コーポレートゲームズ」で ICT を活用した先進サービスの実証実験

～ 安全・効率的な大会運営や最適なおもてなしを提供 ～

概　要

日本電気株式会社と綜合警備保障株式会社様は、本年 11 月 14 日（土）・15 日（日）に東京湾岸エリアで開催されたスポーツ大会「ザ・コーポレートゲームズ 東京 2015 アジア パシフィック」において、2020 年とその先を見据えて ICT を活用した先進サービスの実証実験を行いました。

イメージ図

顔認証による入場管理

競技状況のリアルタイム配信

混雑状況の早期検知

（参照：http://jpn.nec.com/press/201510/20151026_01.html）

効果・成果

①顔認証による入場管理

リレーマラソンのチームキャプテン約 300 名を対象に、事前に登録した顔画像と、大会当日に競技場（夢の島競技場）入口にてタブレット端末で撮影した顔画像を照合。顔認証成功率 100%、認証は 1 人あたり数秒で行列の滞留もなく、スムーズな受付運用により、大会の円滑な運営に貢献しました。

②車いすの参加者の早期検知

自動でデータの傾向を学習する NEC の人工知能ソフトを活用し、競技場の駐車場に設置したカメラの映像から、車いすを検知。これにより、車いすでのリレーマラソン参加者の到着を早期に把握し、会場への入場補助や施設案内などサポートサービスのタイムリーな提供に貢献できました。

③混雑状況の早期検知

群衆映像から混雑状況や異変を検知する NEC の「群衆行動解析技術」を活用し、メイン会場に設置したカメラの映像から、来場者の混雑状況を高精度かつリアルタイムに検知。これにより、混雑状況に応じた来場者の適切かつ効率的な誘導を行うことができました。

④運営本部と遠隔地の会場間でのスムーズな情報共有

警備員やボランティアスタッフがウェアラブルカメラと IP トランシーバを装着し、会場で発生した不測の事態や来場者からの問い合わせなどの情報を運営本部と共有。運営本部が現場の状況を位置情報や音声に加え映像でも把握し、関係者間のコミュニケーションをスムーズに行い、警備サービスの品質を向上しました。

⑤遠隔地の競技状況のリアルタイム配信

夢の島競技場外のリレーマラソンコース 3 ヶ所に設置したカメラからの映像を、参加者に配付するタブレット端末 100 台にリアルタイム配信。これにより、競技場の外を走るランナーの映像を手元で見ることができ、利用者から喜びの声を多くいただきました。

担当部署

日本電気株式会社　関西支社　（大阪市中央区城見 1-4-24 NEC 関西ビル）
担当者：事業推進部　新事業営業グループ　相澤　Tel：06-6945-3157　Mail： k-aizawa@da.jp.nec.com
URL：http://jpn.nec.com/